

# 2013年3月期 第2四半期 決算説明会



2012年11月14日

<http://www.tsugami.co.jp>

1. 業績と見通し	P. 2～P. 6
2. 受注状況	P. 7
3. 財務状況	P. 8～P. 10
4. 主要課題	P.11～P.13

# 1.業績と見通し

## (1) 業績推移 - 半期・通期 -

### 2012年度 上期概況

<売上高> タイ復興需要、スマートフォン市場参入効果もあり、計画比増収

<利益面> 増収効果、円高対策諸施策の効果により 計画比増益も、  
長期化する円高により、利益率はやや低下

### 2012年度 通期見通し

#### <売上高>

- ・ 欧州債務危機の長期化、中国の景気減速の影響もあり足元の需要は低迷中
- ・ 年末以降 徐々に需要も回復、IT関係の回復も4Q以降

<利益面> 為替水準不安定により、利益水準の不透明感は否めず

単位：億円

	2011年度			2012年度 実績・計画				
	上期	下期	通期	上期実績	前年同期比	期初計画差異	下期計画	通期計画
売上高	167	190	357	344	+177	+44	206	550
売上総利益	35	49	84	87	+52	--	-	-
(売上比)	(21.0%)	(25.4%)	(23.4%)	(25.2%)	(+4.2%)	(-)	(-)	(-)
営業利益	14	27	41	56	+42	+8	32	88
(売上比)	(8.4%)	(14.1%)	(11.4%)	(16.4%)	(+8.0%)	(+0.4%)	(15.5%)	(16.0%)
経常利益	12	27	39	50	+38	+4	34	84
(売上比)	(7.3%)	(13.9%)	(10.8%)	(14.5%)	(+7.2%)	(△0.8%)	(16.5%)	(15.3%)
当期純利益	9	14	23	31	23	3	21	52
(売上比)	(5.2%)	(7.4%)	(6.4%)	(9.1%)	(+3.9%)	(△0.2%)	(10.2%)	(9.5%)
一株当り当期純利益	13.2円	20.7円	33.9円	42.6円	+29.4円	+4.6円	28.1円	70.7円

## (2) 業績推移 - 半期・Q別-

単位：億円

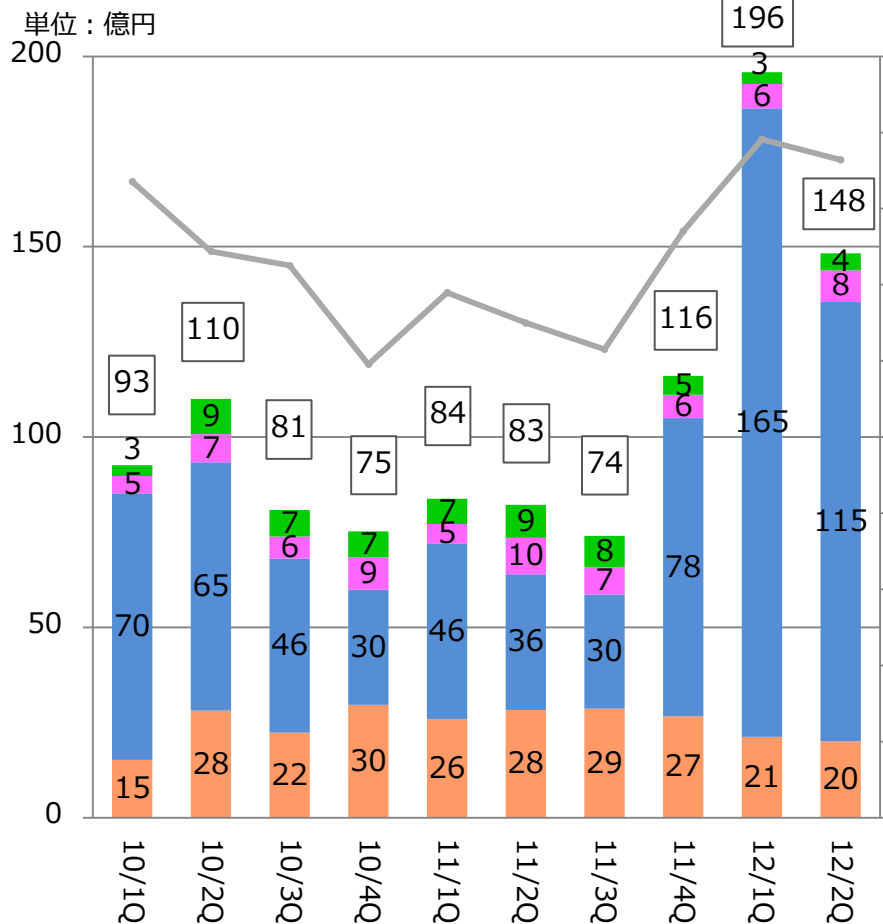
	2011年度						2012年度			
	上期	下期	1Q	2Q	3Q	4Q	上期	1Q	2Q	下期 (計画)
売上高	167	190	84	83	74	116	344	196	148	206
売上総利益	35	49	17	18	18	31	87	48	39	--
(売上比)	(21.0%)	(25.4%)	(20.0%)	(22.1%)	(24.1%)	(26.2%)	(25.2%)	(24.3%)	(26.5%)	(-)
営業利益	14	27	6	8	7	20	56	33	23	32
(売上比)	(8.4%)	(14.1%)	(7.6%)	(9.2%)	(9.8%)	(16.9%)	(16.4%)	(16.9%)	(15.7%)	(15.5%)
経常利益	12	27	6	6	7	20	50	28	21	34
(売上比)	(7.3%)	(13.9%)	(6.7%)	(7.9%)	(9.8%)	(16.6%)	(14.5%)	(14.5%)	(14.5%)	(16.5%)
当期純利益	9	14	5	4	4	10	31	18	13	21
(売上比)	(5.2%)	(7.4%)	(5.5%)	(5.0%)	(5.1%)	(8.8%)	(9.1%)	(9.3%)	(8.8%)	(10.2%)

### (3) 地域別売上高

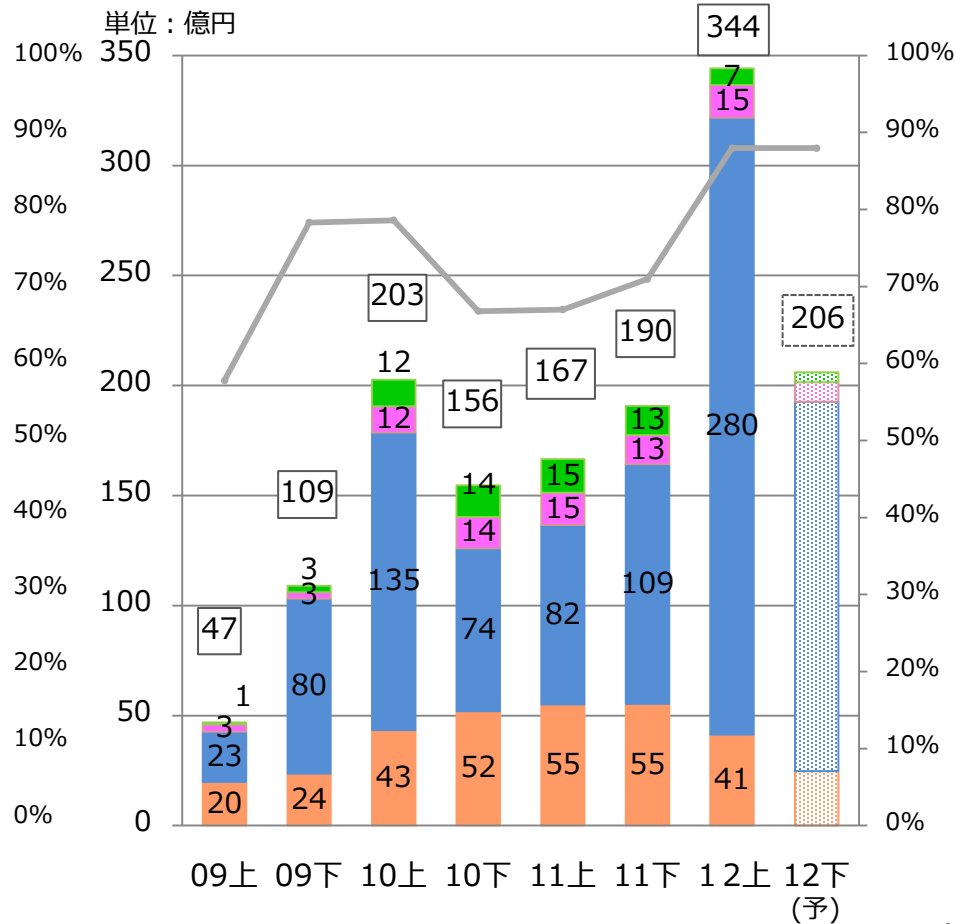
- ・ 上期はアジア中心に好調であったが、夏以降減速、日本、欧米市場ともに伸び悩む
- ・ タイ復興需要は一巡、スマートフォン向けは年明け以降回復

■ 内需 計  
■ アジア  
■ 米国  
■ ヨーロッパ  
— 海外比率

#### 四半期



#### 半期



# (4) 業種別売上高

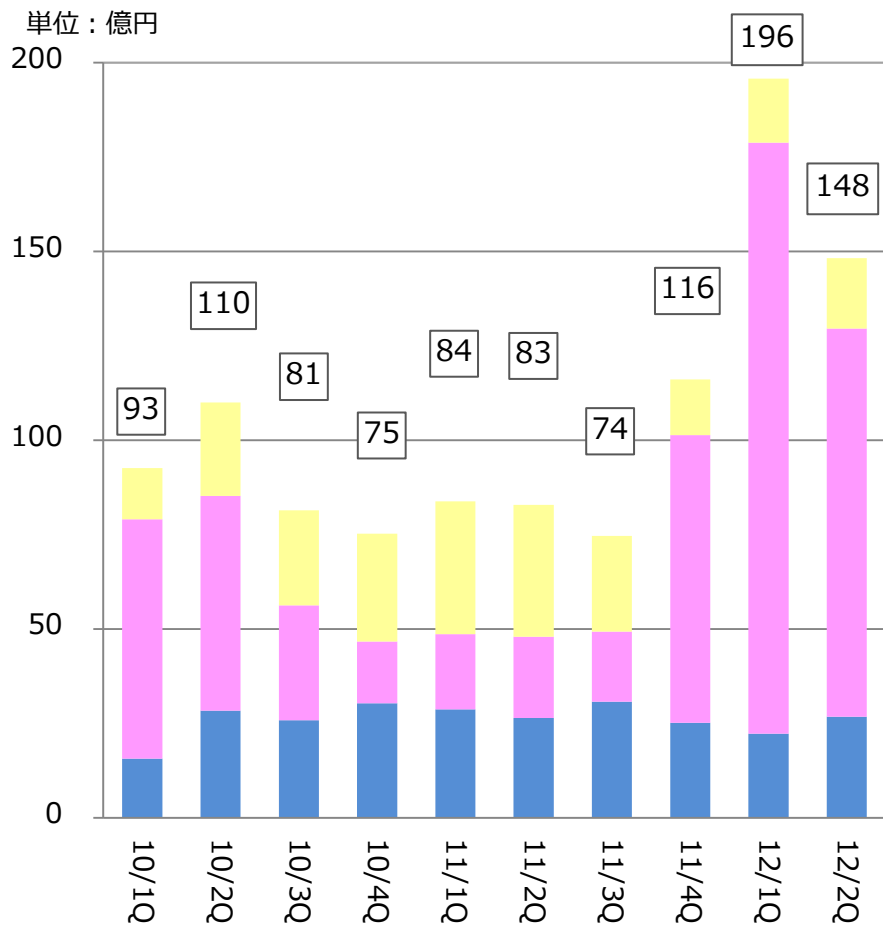
自動車：中国市場は低水準、回復期に向けて新機種を投入

IT：HDD関連はタイ復興需要が12/2Qで一巡、新たな設備投資の計画は来年以降を予想  
 スマートフォン向け関連は12/2Qで一巡、回復は12/4Q以降

- 自動車関連
- IT
- その他(油・空圧、医療他)

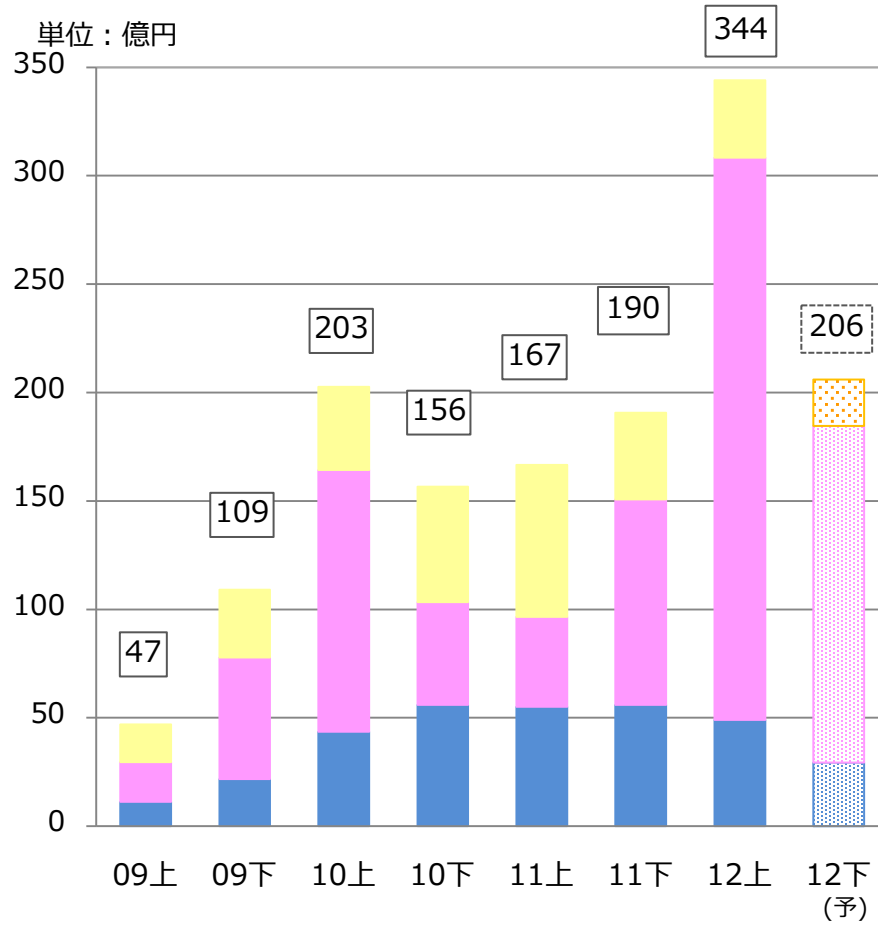
## 四半期

単位：億円



## 半期

単位：億円



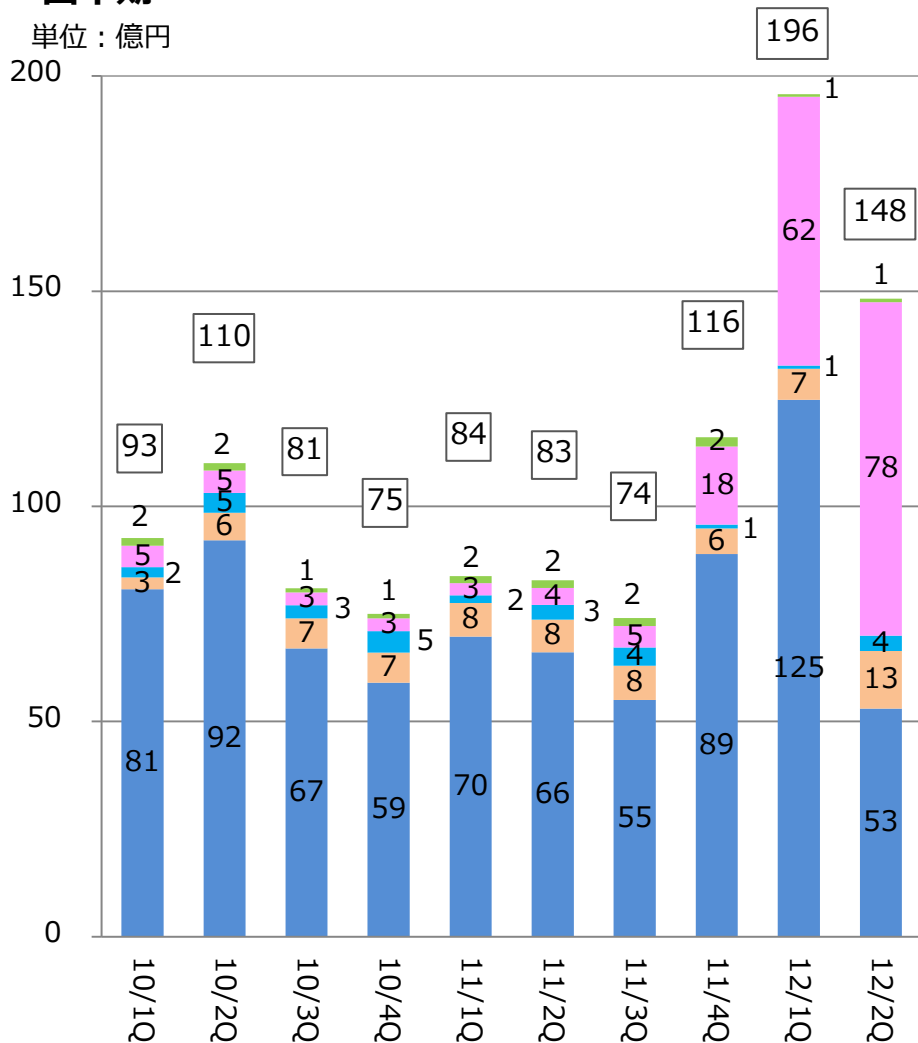
# (5) 機種別売上高

\* 2012年度はスマートフォン市場参入に伴い、  
自動旋盤・タッピングセンタ(「■ 転造盤、専用機」に分類)が伸長

- 自動旋盤
- 研削盤
- マシニングセンタ
- 転造盤、専用機
- その他

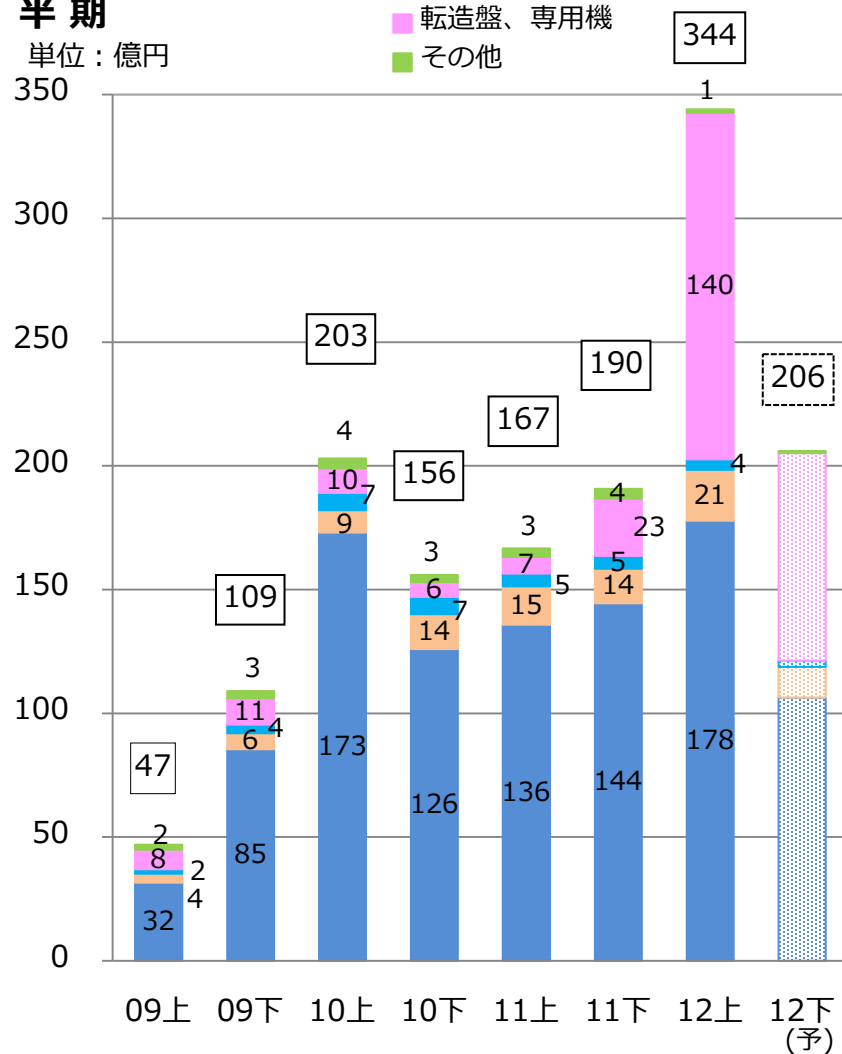
## 四半期

単位：億円



## 半期

単位：億円

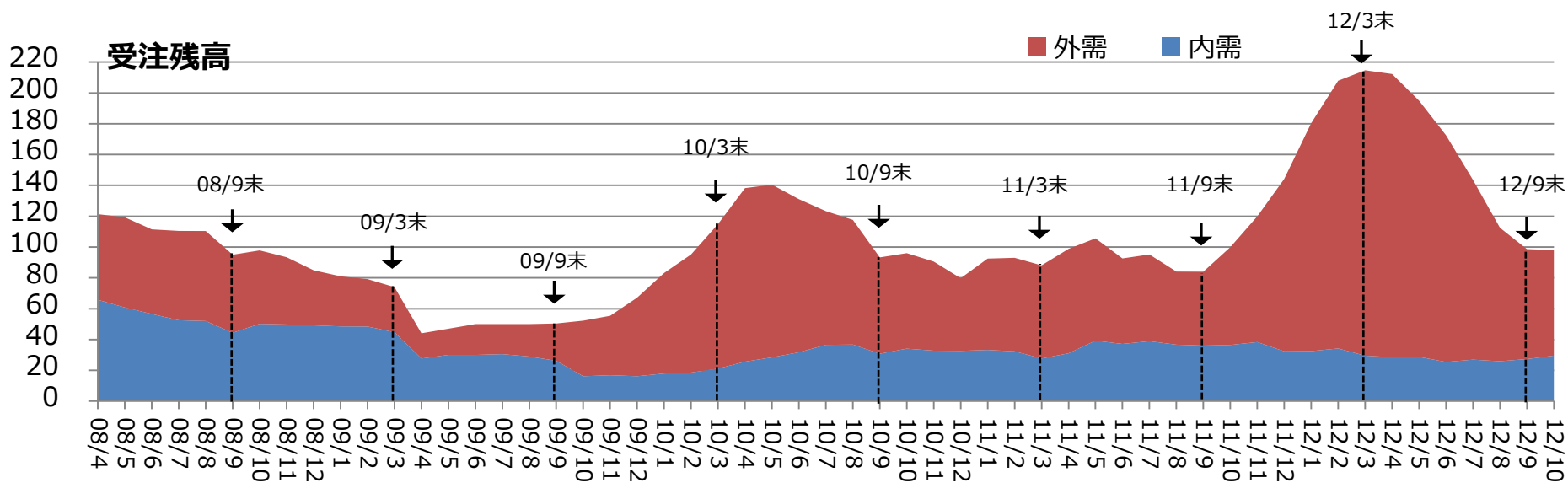
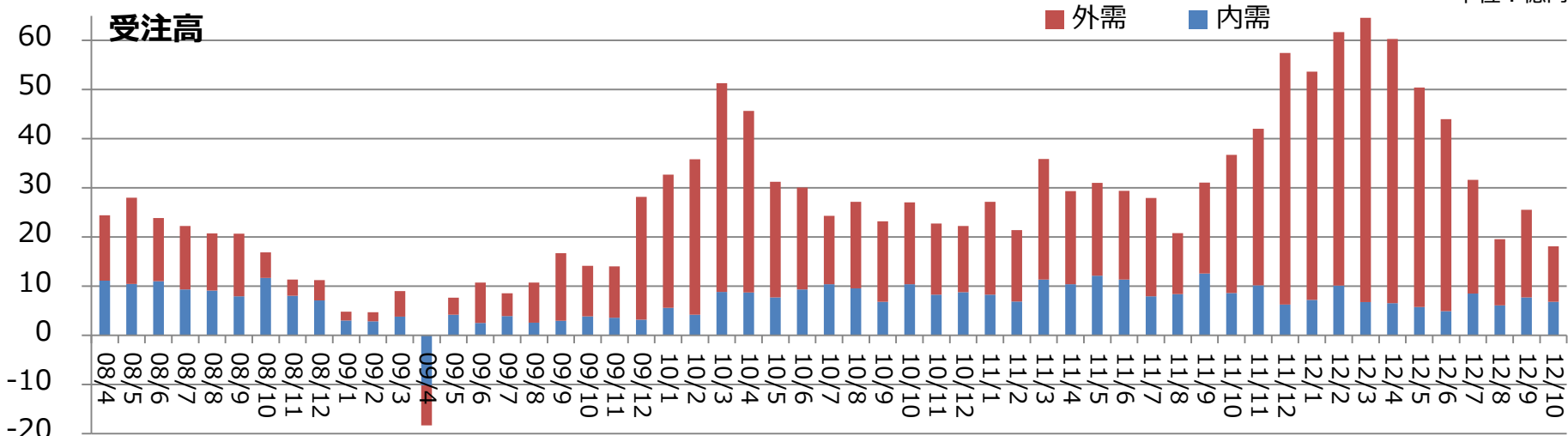


## 2. 受注状況

### 受注状況及び受注残高

PRECISION TSUGAMI

単位：億円





### 3.財務状況

#### (1) 貸借対照表

単位：億円

	12/3末	(内中国)	12/9末	(内中国)	増減	
資産 計	508	(176)	464	(169)	△43	
流動資産	371	(143)	333	(131)	△38	
現預金	53		50		△3	
売上債権	105		102		△3	
たな卸資産	188		169		△19	
固定資産	136	(33)	131	(38)	△5	
有形固定資産	72		86		+14	新潟工場増棟 +3 生産機械 +6 新規連結 +5
投資その他	62		43		△19	有価証券 評価減 △15 新規連結による関係会社出資金 △4
負債 計	231	(128)	171	(108)	△59	
流動負債	215	(124)	161	(105)	△54	
支払債務	165		127		△38	
短期借入金	21		0		△21	
固定負債	16		10		△5	
純資産	277	(48)	293	(61)	+16	
資本金・資本剰余金	182	(34)	182	(34)	0	
利益剰余金	85		113		+28	
自己資本比率	53.9%	(27.3%)	62.2%	(35.9%)	+8.3%	

## (2) キャッシュ・フロー

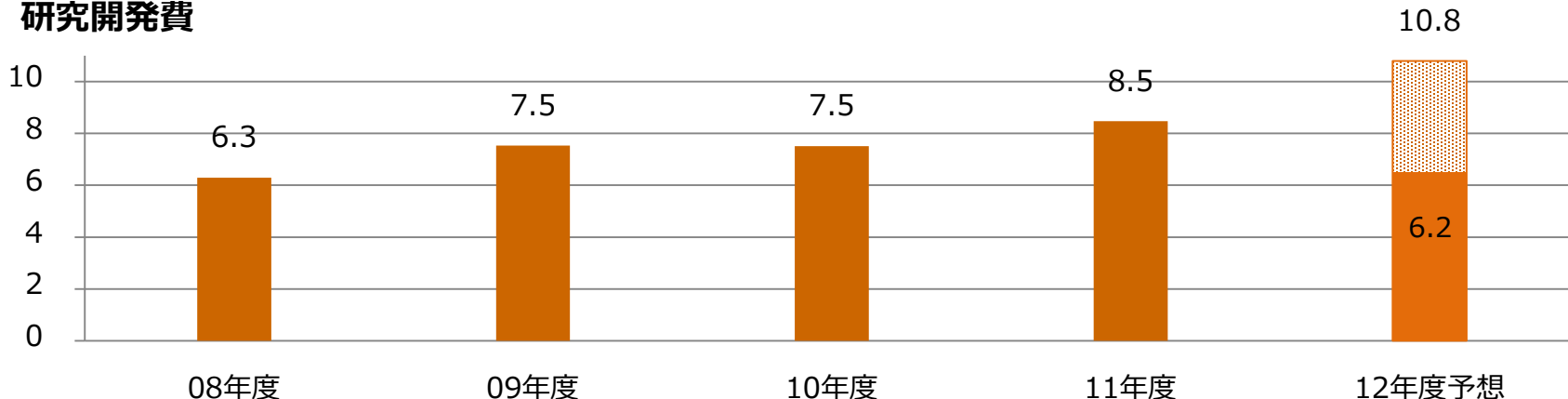
単位：億円

	11上期	11下期	12上期	
営業活動によるC/F	11	△6	34	
償却前利益(税引前)	16	29	53	税引前利益 49億 減価償却費 4億
運転資金の増減額	△1	△36	△4	支払債務の減少 △36億 売上債権の減少 2億 たな卸資産の減少 16億 その他流動資産の減少 14億
法人税等	△4	△2	△18	
投資活動によるC/F	△9	△10	△12	
日本工場設備	△0	△1	△2	
中国工場設備	△4	△10	△9	
海外現法設立	△5	0	0	(11上：イトゞ生産会社)
財務活動によるC/F	6	20	△26	
新株発行	-	35	-	増資6.9百万株
短期借入金	11	△11	△21	借入残 0
社債の償還	△1.5	△1.5	△1.5	
配当金支払	△3	△3	△4	増資6.9百万株 (11上 5円/株 11下5円/株)
期中増減額	8	4	△4	
預金等期末残高	49	53	49	

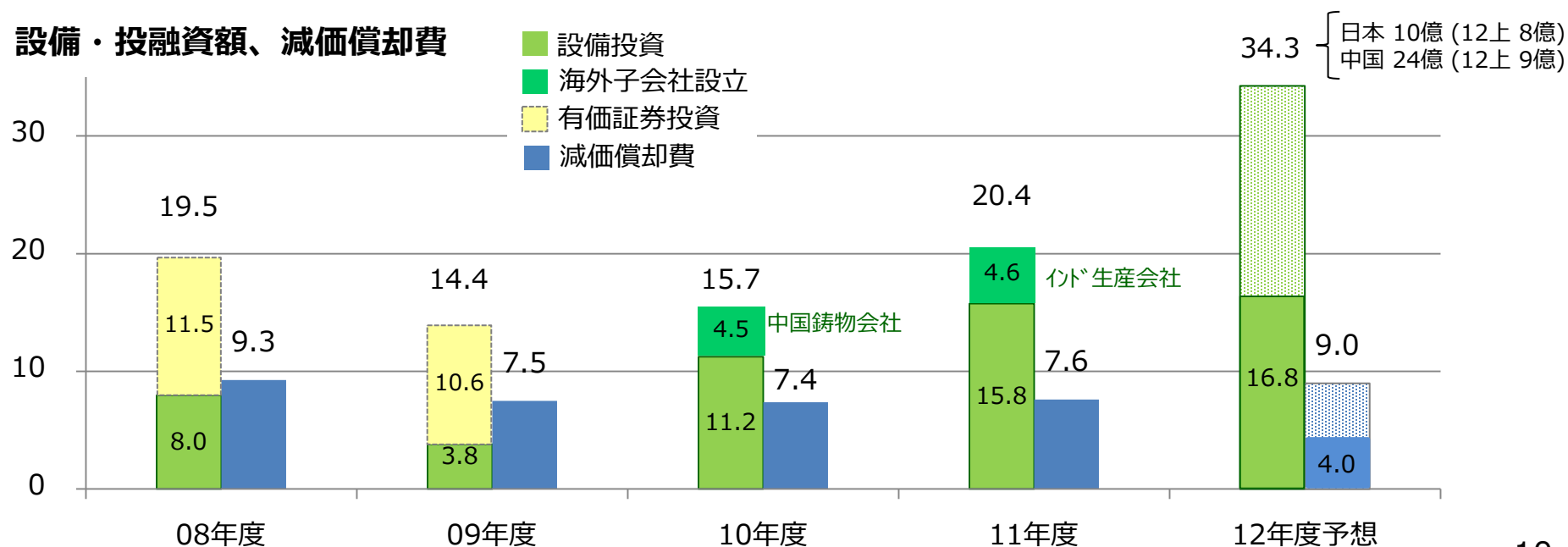
### (3) 研究開発費、設備・投融資額、減価償却費

単位：億円

#### 研究開発費



#### 設備・投融資額、減価償却費



## 4.主要課題

### (1) 新製品開発

ハイエンド機種の商品揃え増強、生産の効率化、コストダウンに注力、競争力を向上

		日本生産	中国生産
新製品	IT分野	SS20M FTG18TL	VA1- II B0126- II B0206- II
	自動車関連・その他産業機械	BH38- II SS327	B020M B0265- II B0326- II
今後の 開発予定	IT分野	自動旋盤 2 機種	自動旋盤 2機種
	自動車関連・その他産業機械	日本生産機種のバージョン アップ	

## 多品種少量生産 - 生産効率化

12年度 日本設備計画 10億 … 新潟工場 新棟 3億 } (12上実績 8億)  
生産効率化設備 7億

新潟県 3 工場に生産を集約

新潟工場に新棟増設、生産効率化 投資

新潟県

長岡工場 38,259㎡

高見工場 5,620㎡

新潟工場 6,438㎡

新棟 2,595㎡

→ 約1.5倍へ



新潟西港から約1km  
既存の新潟工場の土地に新棟を増設  
2012年5月完成

日本製品の原価低減 (円高の活用)

- ・ 海外部品 (ユニット含む) 調達
- ・ 国内生産体制の効率化

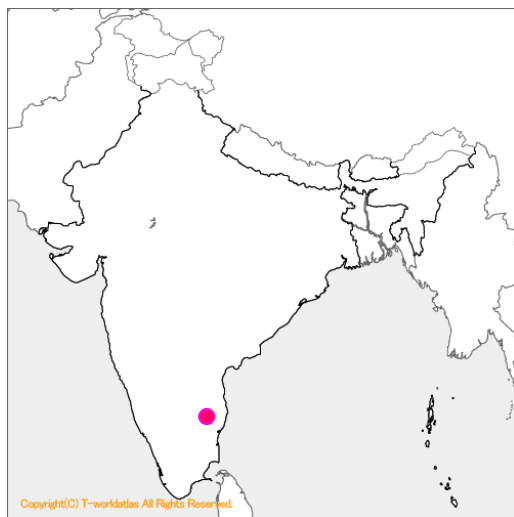
生産会社

TSUGAMI PRECISION ENGINEERING INDIA PRIVATE LIMITED

(インド チェンナイ)

ツガミグループ 100%出資

2012年12月より生産開始 月産10台強



当資料に記載されている内容は、種々の前提に基づいたものであり、記載された将来の計画数値、施策の実現を確約したり、保証するものではありません。